

2026年4月9日

2026 Virtus アジア・オセアニアゲームズ
水泳日本代表推薦選手選考方針と基準について

(一社) 日本知的障害者水泳連盟

日本代表推薦方針

1. 水泳日本代表推薦選手は、日本パラリンピック委員会（以下、JPC という）の定める日本選手団編成方針（注 1）に基づき、メダル獲得の可能性が高い選手やロサンゼルス 2028・ブリスベン 2032 パラリンピックや 2027Virtus グローバル大会など、今後の国際大会での活躍につながる選手を推薦する。
（注 1）2026 年 4 月 5 日現在、JPC 日本選手団編成方針が公表されていないため、今後、公表された段階で更新する可能性がある。
2. 選考にあたっては、2026 年 6 月 13-14 日開催予定の第 29 回日本知的障害者選手権水泳競技大会後に開催予定の、日本代表選手選考委員会（以下「選考委員会」という）が選考し、日本知的障害者水泳連盟の常務理事会の承認を経て、JPC へ推薦する。
3. 推薦選手として公表の時期は、選考会終了日以降に速やかに決定し、各連盟のホームページで公表する。

2026 Virtus アジア・オセアニアゲームズ水泳競技の参加要件、および JPC が定める日本代表選手団の編成方針を満たし、当該連盟が定めた推薦基準を満たすもの。

推薦基準

1. 次の参加要件を満たしているもの。
 - (1) 2026 年シーズンに有効な Virtus アスリートライセンスを保持していること。
 - (2) 選考会において MQS（注 2）を達成していること。
 - (3) JPC から水泳競技に与えられた参加枠（注 3）の範囲内とする。
（注 2）2026 年 4 月 5 日現在、大会要項が公表されていないため、公表され次第、連盟 HP で公表する。
（注 3）2026 年 4 月 5 日現在、参加枠が公表されていないため、公表され次第、連盟 HP で公表する。
2. JPC の定める自己管理や医学的観点を満たせるもの、並びに当該連盟の定める強化指定選手等行動規範等を遵守できる選手であること。

I. 選考と基準記録

1. 標記大会推薦選手は、愛知・名古屋 2026 アジアパラゲームズに出場する選手とは兼ねない。
2. 知的障がい選手（II1）とダウン症選手（II2）はそれぞれに選考する。
3. 2026 年 6 月 13-14 日開催予定の『第 29 回日本知的障害者選手権水泳競技大会（以下「選考会」という）』に出場しており、その記録を選考の対象記録とする。
4. 選考は種目ごととし、選考会にて連盟が設定した派遣基準を突破した上位 3 名の選手を対象とする。
5. JPC より水泳競技に割り当てられた参加枠（注 3）の範囲内で優先順位の高い選手から推薦選手とする。その推薦選手の内訳は 2 : 1（知的障がい選手 : ダウン症選手）程度とする。
6. 補欠は選考しない。

【派遣基準記録】

EVENT	知的男子	知的女子	ダウン男子	ダウン女子
50m 自由形	25.26	29.68	34.52	41.44
100m 自由形	55.52	1:04.59	1:19.94	1:32.97
200m 自由形	2:02.53	2:20.56	2:59.51	3:27.30
400m 自由形	4:21.24	5:00.43	6:01.23	6:25.42
800m 自由形	9:09.11	10:45.85	12:35.90	13:24.21
1500m 自由形	17:34.02	22:17.11	24:56.17	25:52.18
50m 背泳ぎ	29.52	35.60	41.45	52.36
100m 背泳ぎ	1:04.48	1:15.82	1:32.92	1:54.97
200m 背泳ぎ	2:24.79	2:48.65	3:26.13	4:06.73
50m 平泳ぎ	32.53	39.28	45.86	53.40
100m 平泳ぎ	1:12.49	1:24.54	1:38.14	2:01.66
200m 平泳ぎ	2:37.25	3:02.58	3:53.64	4:15.39
50m バタフライ	26.64	32.00	35.77	48.79
100m バタフライ	59.50	1:13.28	1:36.36	1:56.69
200m バタフライ	2:14.83	3:00.97	3:24.57	4:21.95
200m 個人メドレー	2:18.56	2:41.69	3:17.10	4:05.24
400m 個人メドレー	4:58.71	6:01.34	6:56.78	8:08.90

II. 優先順位について

1. 派遣基準記録を突破し推薦候補となった選手に優先順位をつける。
2. 優先順位は、派遣基準記録に対する到達度とし、知的障がい選手（II1）とダウン症選手（II2）それぞれ順位づけをする。
3. それぞれの中で同順位であった場合、2 種目目以降の到達率が高い選手から順位づけをする。

例) 到達率

男子 200m 自由形 2:01.00 は派遣基準記録に対する到達率は以下のとおり算出する。

$$(122.53 \div 121.00) \times 100 = 101.264 \rightarrow 101.264\%$$

4. 優先順位の上位の選手から、JPC より知的水泳競技に割り当てられた参加枠（注 2）の範囲内を、推薦選手とする。

III. 出場種目について

1. 原則、選考された種目は必ず出場すること。
2. 選考された選手は、選考会に出場していない種目であっても、MQS 突破要件を満たしており、1 カ国 1 種目 3 名の上限に達していなければ出場が認められる。ただし、II. 2. の優先順位の高い選手が優先される。

IV. 補欠選手について

補欠選考は実施しない。

V. その他

1. リレー種目のみの選考は実施しない。
2. この方針に定められていない事項については、選考委員会が審議し決定する。

以上